

## 第6学年 学級活動（2）指導案

日時：令和4年1月28日（金）第6校時

学年：6年 児童数9名

指導者：宮上 和志

1. 題材名 「命を守るために」  
学級活動（2）ウ「心身ともに健康で安全な生活態度の育成」

### 2. 題材について

#### （1）児童の実態

本学級の児童は、これまでの防災学習や避難訓練を通して地震災害における地震発生時、地震発生直後、避難中、避難場所での危険や対処、備えなどの学習を中心に積み重ねてきている。そのため、危険性や身を守る行動について一定の知識を持っており、地震や避難に対する関心も高い。

総合的な学習の時間では、竹島小学校と地形的特徴が類似する大川小学校の被害について調べ、同じことを繰り返さないという目的意識をもち、Google マップを活用し地域の避難マップを作成しており、自分の命だけでなく地域の命を少しでも多く救うためにはどうすれば良いかを考える姿が見られている。

一方で、それら防災に関する知識を有しているが実際に地震が起きた際にどう行動するのかを想定し、知識や諸条件を複合的に考えている児童は少ない。学習したことを生かして安全に行動するために様々な危険の要因や安全な避難の方法、その場に応じた状況判断力をこれまでの知識やデータ、ハザードマップ、史実等をもとに想定し、突発的な状況にも対応する力を身につける必要がある。何より、自分の命を守りきる力を育て、大人がいなくても生き残ることができる判断力を身に付けさせたい。

#### （2）題材設定の理由

本校は海拔 3.6m に位置し、南海トラフ地震発生時震度 6 強～7、地震継続時間 2.5～3 分とされており、津波到達時間（30cm の浸水深）が 31 分～、津波浸水予想 1m～3m となっている。また、宝永地震（1707 年）の津波の被災を伝える谷陵記には次のように記されおり、南海トラフ地震においても甚大な被害が想定される。

下田	亡所、潮ハ山迄、山際ニ屋具計残ル、家少シアリ、
鍋島	潮ハ田丁、家ニモ、窪田ハ海ニ成ル、
竹島	上ニ同、
井澤	上ニ同、
小津賀	潮ハ田丁迄、家ハ事ナシ、窪田ハ海ニナル、
佐岡	潮ハ田丁迄、家ハ事ナシ、後川ノ潮ハ敷地ノ中澤岩田ノ境大要寺ノ門前堤ノ下迄、
中村	地震ニ家三ヶニ倒ル、潮ハ田窪迄、渡リ川ノ潮ハ岩崎脇田ノ池限、

地震発生時は何が正しいかわからないことから判断や行動が難しく、曖昧な状況では複雑な計算を行う代わりに直感的で簡便な方略を選択しがちになり意思決定の時間を短縮する傾向がある。また、災害発生時には危険な行為を無視、認めようとしぬ信念（正常性バイアス）やまわりが平然としているから「問題なし」と誤認すること（集合的無知）、緊急時に視野が狭くなり、全体を見渡すことが難しくなること（視野狭窄化）、普段問題なくできていることが緊急時には難しくなる（認知資源不足）ことが考えられる。

そのような状態でも、自分や他の命を守る行動を取るためには、防災に関する知識や地域の地形特性を知ること、またそれらに応じた想定を行うことが必要である。それらを積み重ねておくことで、もし地震が発生した際に様々なバイアスがかかっても直感的思考で迅速に行動ができるようにしていきたい。

この授業ではそれら様々な心理的バイアスがかかる状態や避難阻害がある状態でも自分の命を守る行動をとることができるように、自分たちの地域で地震が起きたことを想定してどのように判断をするのかを考えることで、地震発生時にも自分や周囲の人の命を守るためによりよい行動が取れるような判断力を身につけることができるようにする。その際、総合的な学習の時間で作成したマップやハザードマップ、史実等を活用し、クロスロード形式で地域で地震にあった際にどのように判断すれば良いか考えていきたい。

3. 学級活動（2）「日常生活や学習への適応及び健康安全」の評価規準  
（第5学年及び第6学年）

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団に一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。

4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>google マップに地域の危険箇所をまとめる (総合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険や避難所等各レイヤに分けて登録を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の危険箇所を見つけることでもし地震が起きたときどのように避難行動を取れば良いか問題意識をもって考えようとしている。</li> </ul> <p><b>【関心・意欲・態度】</b> (google マップ)</p>

5. 本時のねらい

校区内の避難場所・避難経路の安全や危険箇所をもとに地震発生後の避難の際によりよい行動を選択するための判断力を養う。

6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
つかむ	1. 避難行動を振り返る ・担任の失敗を知る。 (1月22日の地震での避難行動) ・自身の避難行動を振り返る  2. 失敗を繰り返さないためにどうすればよいか考える。  3. めあてを確認する。	・大人でも不安になることや行動できなくなることを伝える。 ・それぞれの課題を自覚させ、自分ごととして考えさせる。  ・命を守る行動を評価しつつも事前の備えや家族との話し合いが重要だということを伝える。 ・自分たちで身を守り、判断する力を付けるために学習をしていくということからめあてを決める。	
	地震後の避難でどのような判断をすればよいか考えよう		
やぐら	4. クロスロードの方法を確認する。  心理的バイアスがかかる状態でどのように判断すればよいか考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             あなたは、土曜日のお昼ごろ6年生の数人で竹島小学校の校庭で遊んでいるときに1分以上の大きな揺れが起きました。揺れは収まり、まわりを確認してみると電柱が傾いたりフェンスが曲がったりしていますが全員無事です。地域の方々も集まってきました。地域の大人たちは「これくらいの揺れなら大丈夫だろうが家が心配だから一回帰ろう」と話をしています。あなたも家の様子が心配です。一度家に帰りますか。           </div>	・判断のポイントや事前にできることも考えるように指示する。  ・実際の地震後と同様に短い時間で意思決定をさせる。	
	5. 避難阻害要因がある状態でどのように判断すればよいか考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             1分以上の大きな揺れが続きましたが、あなたはけがもなく無事で今から避難所に向かいます。あなたは、この道を通って環境センターに避難しますか。           </div>	・google アースを活用して実際の経路を見ながら考えられるように方法を伝える。	

みつける	<p>6. 危険が迫る中助けられる可能性がある命を目の前にしたときの行動を考える。</p> <p>揺れが収まってから3分、環境センターへの避難の途中、県道に出るあたりで足の不自由なおじいさんがいます。あなたはそのままおじいさんを追い抜いて避難しますか。</p>	<p>• これまでの知識を生かして、最善の方法を見つけている児童を評価していく。</p>	
	<p>7. 学習のまとめをする。</p> <p>• このような状態にならないようにするために大切なことを考える。</p> <p>地震後の避難では次のようなことが大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 事前に、もしものことを<u>考えておく</u>こと</li> <li>• 事前に、地域の危険個所を<u>知っておく</u>こと</li> <li>• 事前に、家族で地震が起きた時の行動を<u>決めておく</u>こと</li> </ul>	<p>• 事前の備えによって命は守れることをおさえる。</p>	
きめる	<p>8. 学習を振り返る。</p> <p>• もし前回の地震と同じような状況で1分以上の大きな揺れが来たらどうするか</p>	<p>• 自分のことだけでなく家族、地域住民にも目を向け、今後の総合的な学習の時間に繋げる。</p>	<p>南海トラフ地震に備え、家庭や地域の状況に合わせて自分にできることを考えている。</p> <p><b>【思考・判断・実践】</b> (ワークシート・発表)</p>

### 7. 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>• 家庭で家族防災会議を行う。</p>	<p>• 想定にとらわれず命を守るための最善の方法が考えられるように資料をもとに考えさせる。</p>	<p>• 地震による被害を最小限にするために自分にできる備えは何なのか考え、実践している。</p> <p><b>【思考・判断・実践】</b> ワークシート</p>

### 8. 板書

